



Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

「世界」が日常

人間と環境の関わりに関する諸問題を国際的な視点から追究している大学院人間・環境学研究科<通称「人環」(じんかん)>では、研究および教育の両面において、国際交流が重要な基盤となっています。このリーフレットでは、そのような人環の国際交流の一部を紹介しています。

研究者の交流



第27回国際交流セミナー
(2頁参照)

毎年多数の外国人研究者が本研究科を訪れ、研究活動、学会参加、学生指導などで目覚ましい貢献をしています(表1参照)。2009年度、海外から本研究科を訪れた研究者は次の通りです。

外国人研究員(客員教授・准教授)

・次頁(2頁)で詳しくご紹介していますのでそちらをご覧ください。

外国人招聘学者〔()内は国籍/所属・身分〕

- ・Muhammad Kamran Naqi Khan先生(パキスタン/Hamdard大学経営科学研究所所長/教授)
- ・黎燕先生(中国/広東広州暨南大学外国語学院講師)

- ・金貞禮先生(大韓民国/全南大学人文学部日語日文学科教授)
- ・金良宣先生(大韓民国/嶺南大学准教授)
- ・金澄坤先生(中国/首都師範大学副教授)
- ・Steven Alar Fesmire先生(米国/グリーン・マウンテン・カレッジ環境学部准教授)
- ・Mahmud Shamsul H先生(バングラデシュ/ダッカ大学教授)
- ・Steineck Christian先生(ドイツ/チューリヒ大学東洋学研究所日本学科正教授)
- ・Neddar Bel Abbes先生(アルジェリア/モスタガネム大学上級講師)

外国人共同研究者〔()内は国籍/所属・身分〕

- ・Sheuo Hui Gan博士(マレーシア/JSPS外国人特別研究員)
- ・Steven Trenson博士(ベルギー/仏国立高等研究院研究員 JSPS外国人特別研究員)
- ・Regis Defurnaux博士(ベルギー/ナムール大学助教)
- ・呉魯平博士(中国/中国青年政治学院研究員)
- ・Rajesh Ghanshyam Gonnada博士(インド/国立化学研究所研究員 JSPS外国人特別研究員)
- ・Vorobeva Galina博士(キルギス/元キルギス日本人材開発センター日本語講座主任日本語講師)

また、本研究科からは多くの研究者が学会参加や共同研究のため海外に出掛けています。

年度	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
外国人研究員(客員教授・准教授)	6	3	4	6	8	6	6	7	8
外国人招聘学者	1	2	5	2	4	3	3	9	9
外国人共同研究者	3	5	1	1	4	6	5	10	6

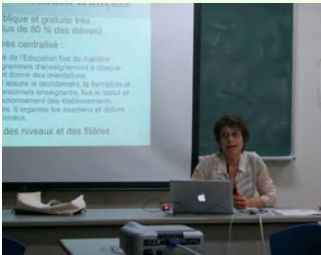
表1 研究者の交流 (人)

国際交流セミナー

大学院人間・環境学研究科では、常時一名ないし二名の外国人研究員（客員教授・准教授）が研究に携わっています。研究科として先生方を歓迎し、また先生方には各自の研究成果を研究科に紹介して頂くため、先生方の講演と懇親会で構成された「国際交流セミナー」を開催しています。懇親会では大いに話が弾みます。以下、2009年度中に実施された国際交流セミナーを簡単にご紹介しましょう。

第22回 2009年5月28日

演者 ヴェロニク・カステロッティ (Véronique Castellotti) 先生
フランス トゥール・フランソワ・ラブレー大学教授
演題 フランスの教育制度と言語教育



第23回 2009年6月19日

演者 フェデリコ・ルイゼッティ (Federico Luisetti) 先生
米国 ノース・カロライナ大学
ロマンス語学科准教授
演題 レディメイドの時代：デュシャン以後の芸術の変容



第24回 2009年7月28日

演者 マルコ・ベッティネリ (Marco Bettinelli) 先生
イタリア ペローナ大学理工学部教授
演題 イタリア人天才ガリレオの若年期と早期の発見



第25回 2009年10月22日

演者 マイケル・ラディッチ (Michael Radich) 先生
ニュージーランド ヴィクトリア大学宗教学部講師
演題 仏陀の「からだ」



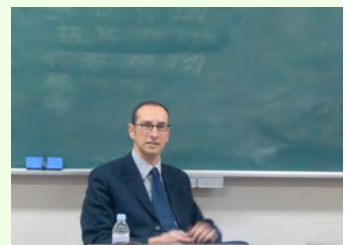
第26回 2009年11月25日

演者 エレナ・グラヴァツカヤ (Elena Glavatskaya) 先生
ロシア ウラル大学歴史科教授
演題 シベリア先住民族の宗教の変容：歴史的観点より



第27回 2010年1月26日 (写真・下左)

演者 クラウス・カイメル (Klaus Keimel) 先生
ドイツ ダルムシュタット工科大学数学科教授
演題 数学者の視点から見たカルロ・クリヴェッリの「受胎告知」(1486)



第28回 2010年2月16日 (写真・上右)

演者 ジュゼッペ・パテッラ (Giuseppe Patella) 先生
イタリア ローマ・トル・ヴェルガータ大学
文学・哲学部准教授
演題 美学に向けたカルチュラル・スタディーズの挑戦

留学生の概要

本研究科では多くの留学生が勉学や研究に励んでいます。ちなみに、京都大学全体では2009年5月1日現在1,407名の留学生が在学していますが、そのうち131名が本研究科で学んでいます(表2参照)。131名という数は本研究科の全在学学生742名(修士課程の学生、博士後期課程の学生、研究生、特別聴講学生を含む)の約18%に当たり、また、その出身地は28カ国及び地域に及んでいます(表3参照)。

1991年(平成3年)4月の開学以来、74名の留学生が博士の学位を取得しました。

表2 留学生受け入れ数
(各年度5月1日現在、留学ビザの者のみ)

年度	留学生数
2001年	85人
2002年	90人
2003年	102人
2004年	106人
2005年	97人
2006年	106人
2007年	101人
2008年	115人
2009年	131人

表3 2009年5月1日現在留学生数
(留学生出身国・地別人数)

中国	78	韓国	14
台湾	8	ロシア	3
インド	2	インドネシア	2
フランス	2	ポーランド	2
アルゼンチン	1	イスラエル	1
ウクライナ	1	ウズベキスタン	1
オーストラリア	1	ギリシャ	1
グアテマラ	1	コロンビア	1
ジャマイカ	1	スペイン	1
ニュージーランド	1	パレスチナ	1
ベトナム	1	ベネズエラ	1
マルタ	1	モンゴル	1
ルーマニア	1	英国	1
米国	1	香港	1

計131

留学生研修旅行

本研究科では毎年秋、一泊二日の留学生研修旅行を実施しています。留学生にとっては、ひととき、勉強のプレッシャーから解放されて、日本文化に接したり他の留学生や教職員と交流できる良い機会です。留学生の皆さんは、ぜひ申し込んで下さい(詳細は10月初めに発表予定)。

2002年以降の主な旅行先は以下の通りです。

- 2002年11月 飛騨、高山
- 2003年11月 加賀、金沢
- 2004年11月 天橋立、城崎
- 2005年10月 高野山
- 2006年11月 広島、安芸の宮島
- 2007年11月 伊勢、鳥羽
- 2008年11月 倉敷、琴平、高松、鳴門
- 2009年11月 姫路、城崎、天橋立、舞鶴

2009年の旅行の写真から



姫路城をバックに記念撮影



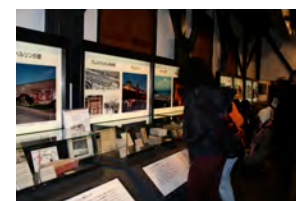
無口になってカニを食べる



コウノトリの郷公園



天橋立傘松公園にて



赤れんが博物館の展示



舞鶴引揚記念館にて

海外留学など

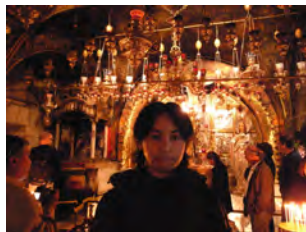
本研究科の学生が海外留学をする場合、大学間交流協定を利用する派遣留学、派遣制度を利用しない一般留学、語学留学など、さまざまな形態が考えられます。関心のある人は早くから準備を始めて、ぜひ夢を実現させて下さい（京都大学留学生課発行「海外留学の手引」を参考にして下さい）。また、留学以外にも、フィールド調査や学会出席のため、毎年数十人の大学院生が人環から海外へ出掛けています。

根本豪さん（22講座・博士課程）

イスラエル・ヘブライ大学短期大学院生
ロータリ国際親善奨学金およびイスラエル
政府奨学金による留学（H21.8～H22.6）



ヘブライ語語学研修にて（前列
左から二人目が根本さん）



聖墳墓教会にて

田中郁也さん（24講座・博士課程）

中国・北京大学中国語文学系高級進修生
中国政府奨学金による留学（H21.9～H22.7）



上段中央が河原さん）



中村朋美さん（22講座・博士課程）

ウズベキスタン・科学アカデミー東洋学研究所研究生
平和中島財団日本人留学生奨学金による留学（H20.10～H22.9）



（左）村の女性の集いにて
（右から3人目が中村さん）

（右）ミールザー・ウルグベク
（15世紀ティムール朝第4代君主）
の像（後ろの建物が東洋学研究所）

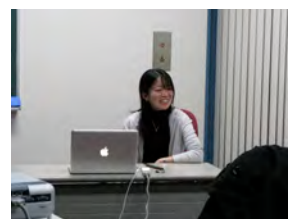


大学院人間・環境学研究科／総合人間学部 「国際交流推進後援会」にご加入下さい

人環／総人に在籍する留学生および外国人研究者に対する援助、支援を行うと同時に、その他の国際交流活動を推進するための財政的基盤を確立する目的で、2005年1月1日付けにて「京都大学大学院人間・環境学研究科／総合人間学部国際交流推進後援会」が設立されました。この後援会は、本研究科の教職員に限らず、その趣旨にご賛同頂ける方ならどなたでも加入して頂けます（一口2000円）。詳しくは、人環大学院掛窓口までお問い合わせ下さい。

第2回「留学報告会」実施 2009年12月4日

海外留学を終えて帰国した学生による「留学報告会」が実施され、具体的に留学を計画している人、将来留学を考えている人などが熱心に聞き入りました。



池野絢子さん（2007年9月-
2009年8月 伊・トリノ
大学に留学）



若林玲奈さん（2008年9月-
2009年9月 仏・ストラス
ブル大学に留学）

◇URL

<http://www.h.kyoto-u.ac.jp/jinkan/>→人間・環境学研究科案内→国際交流

◇問い合わせ先

*国際交流委員／留学生担当講師 藤田糸子
Phone: 075-753-6868
Email: itokofujita@hes.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

*京都大学大学院人間・環境学研究科 大学院掛
606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Phone: 075-753-2952（担当：川崎）
Email: Skawasaki@staff.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

